

第2回

日本ジビエサミット

2016年2月11日(木)~13日(土)

in 福岡

伝統食から外食産業へ



イベントスペース展示
配布資料への広告出稿
のご案内

"Wild boar" photo by Col Ford and Natasha de Vere (flickr)



特定非営利活動法人
日本ジビエ振興協議会
Japan Gibier Promotion Council



日本ジビエサミットとは

**ジビエで日本を元気に。
垣根を越えたステーキホルダーが
全国から参集し課題解決へ**

NPO法人日本ジビエ振興協議会は、2010年の発足以来（2013年にNPO法人化）、年間200億円とも言われる鳥獣被害対策、地方振興の一助としての「ジビエ」の普及振興に努めてまいりました。ジビエの認知度は年々向上し、全国各地でもジビエを使った取り組みも徐々に増加しつつあります。「地方創生」を掲げる国政でも、ジビエ消費の拡大に期待を寄せており、ジビエに取り組む自治体はさらに増えると見込まれています。

日本ジビエサミットは、そうした機運の高まりを受け、全国各地のジビエの取り組みを紹介し、情報を共有することでジビエ振興をさらに加速するために、2015年2月に第1回目を開催いたしました。日本各地の農業、林業担当者や、地方創生に携わるみなさまに、行政、民間、非営利のセクターを超えて多数ご参集いただき、課題の掘り起しや、新たな取り組みに向けた体制作りにお役立ていただくことができました。

第2回目を迎える今回は、テーマを「伝統食から外食産業へ -有害捕獲から地域・産業資源としての捕獲への転換- 」とし、有害鳥獣「駆除」から、資源としての「活用」方法を模索するために、再び全国各地のみなさまにご参集いただきます。衛生問題をクローズアップするとともに、食肉以外の活用法を模索するなど、多角的にアプローチし、ジビエ振興を通し、みなさまとともに日本の活性化を目指します。

開催概要

第2回 日本ジビエサミットin福岡

テーマ「伝統食から外食産業へ」

「ジビエ元年」とも言われた2013年から2年が経ち、ようやくジビエの認知度も上がり、都市部に限らず各地の飲食店でもジビエを扱う例が増えてきました。そこで改めて、ジビエ消費における川下である「外食産業」に焦点を当て、ナレッジとノウハウの共有を通してさらなるジビエ振興を目指します。

主催：特定非営利活動法人 日本ジビエ振興協議会

後援：福岡県、環境省
全国農業協同組合中央会

- ◆日時：2016年2月11日(木)～13日(土)
- ◆会場：アクロス福岡(福岡県福岡市)
- ◆内容：講演(基調講演、基調報告)4講演予定
セミナー(分科会)9講座開催予定 ほか
- ◆来場者(見込み)：3500人

2月11日(木).....現地視察、一般向けジビエ調理講習
2月12日(金).....基調講演、基調報告、セミナー
(捕獲・処理／流通規格)
2月13日(土).....基調報告、セミナー(7つの分科会を実施)



第2回日本ジビエサミットの特徴

① 外食産業へアプローチ

これまで捕獲、処理、流通のフェーズの課題解決に注力してきましたが、いよいよ「川下」、エンドユーザーにリーチする「外食産業」に、強力にアプローチしていきます。
基調報告で外食産業側からの演者を招くほか、13日のセミナー（分科会）では、「ジビエとワイン」「ジビエとビール」といったエンドユーザーを視野に入れたセッションも行います。また、協議会が設立、運営する「国産ジビエ流通規格検討会」からの報告も行い、ジビエ流通の“今”をテーマに議論を重ねます。

② 一般参加者へも訴求

2月12～14日に渡り、会場となるアクロス福岡の隣の「天神中央公園」では、福岡県主催の「ジビエまつり」が開催されます。会場では全国各地のジビエが供されるほか、サミット関連のステージイベントも行い、一般へのジビエ訴求とともに、サミットへの誘引を図ります。

③ 衛生管理、流通規格のスタンダード作りへ

サミットでは、昨年からの導入が進む食肉処理施設のガイドライン（厚労省）をはじめ、獣肉処理における衛生基準、管理方法のほか、流通規格のスタンダード化についての意見交換を行い、意志統一を図っていきます。



"Radioactive boar" photo by Arctic Wolf(flickr)

みどころ・チェックポイント

食肉処理施設の衛生管理のイロハが分かる

昨年、国が衛生ガイドラインを作成してから衛生管理への関心が高まっています。今回のサミットでは、展示、基調報告、セミナーで衛生管理のポイントが分かる催し物が満載です。



ジビエに取り組みたい飲食業者向け報告多数

2日目の基調講演「飲食店サイドから見たジビエの魅力と課題」は、北九州におけるジビエ取扱い飲食店の動向を、ビッグデータの解析で解説します。3日目のジビエ×ワイン or ビールのマリアージュの分科会も見逃せません。



「ジビエ祭り」@天神中央公園とミックスアップ

2月12～14日まで、アクロス福岡の隣に位置する天神中央公園で「ジビエ祭り」が開催。ジビエサミットとの連携が期待されます。



写真はイメージです。(2015年3月開催テレ西春の大感謝祭 全国うまかもん市の様子。九州ビジネスチャンネルのサイトより)

来場者プロフィール

ジビエに関わる課題解決と地方創生に取り組む、 鳥獣被害対策、6次産業化、食肉処理業、飲食業 などがメインターゲット

鳥獣被害対策や6次産業化をテーマにしたイベントは各地で開催されていますが、ジビエ＝シカ肉やイノシシ肉の活用をメインとした関係者向けイベントは日本ジビエサミットしかありません。ジビエの活用は北海道から鹿児島まで、ほぼすべての都道府県に共通する課題。地方創生の機運も高まっている今、全国の行政、地方創生の関係者から熱い視線を集めています。

主な来場者

- ◆全国のジビエを扱う飲食店の関係者
- ◆都道府県・市町村のジビエ利活用(鳥獣被害対策)担当職員
- ◆都道府県・市町村・農協の6次産業化担当職員
- ◆全国の福祉施設の6次産業化担当職員
- ◆全国のシカ・イノシシ解体処理加工施設の運営業者及び狩猟者

全国唯一、ジビエ振興に係わる関係者約1000名が来場するイベントです。



"Wild Boar" photo by Skånska Matupplevelser(fricker)

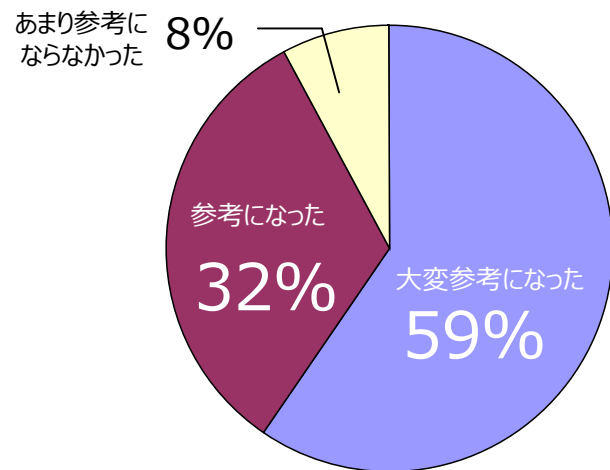
第1回ジビエサミット 実績

来場者400名、90%以上の満足度

2015年2月に開催された第1回ジビエサミットには、厳冬の鳥取に地方自治体、関連団体、企業などから400名を超える参加者が来場。

初日は処理施設や皮革や骨、角などの利活用に取り組む団体の視察を行い、翌日は講演、セミナー、分科会を開催しました。

熱のこもった意見交換が行われ、「参考になった」「大変参考になった」を合わせ90%以上の満足度が得られる結果となりました。



「参考になった」「大変参考になった」合わせると **91%の満足度**

※基調講演、パネルディスカッション、各分科会のアンケート結果を集計



プログラムへの広告出稿

日本ジビエサミット開催にあたり、来場者向けのプログラム(配布資料)を作成し、配布いたします。<内容>・開催概要 ・講演要旨、資料 ・セミナー(分科会)概要および資料 等

形態:A4・カラー／モノクロ 約50頁

部数:2,000部

(開催後、広告付のままpdfを日本ジビエ振興協議会のHPにて公開します)

全国の鳥獣被害対策、林業、農政の関係者、6次産業化事業に取り組む行政、企業、団体のみならず、飲食業・小売り・流通業の関係者、狩猟、処理施設関係のみならず効率よくリーチします。



昨年のプログラムはモノクロだった

◆掲載料金

- 表4..... 300,000円
- 表2..... 250,000円
- 表3..... 220,000円
- 中面..... (4C) 200,000円／(1C) 100,000円

・サイズ:180mm×260mm ※裁ち落としに掛けるデザインは要相談

・表周りはすべてカラー(4C)

※原稿制作費は含みません。 ※すべて税別

※AIデータ(～CC フォントのアウトライン化必須)

イベントスペース展示への出展（1）

会場では、3種類の展示スペースをご用意しています。

※間取り図は11ページ参照

①捕獲－処理－加工のテーマ展示

⇒狩猟捕獲、処理施設関係者、6次産業関連の担当者向け展示

捕獲器具を中心とした「捕獲」、食肉処理施設で使われる冷蔵庫や急冷機、什器を揃える「処理施設」、スチームコンベクション等調理加工に用いられる器具を揃える「加工」、3つのコーナーをシークエンスに合わせて展示し、来場者に一連の動きと展示物の特性を理解してもらうようにするテーマ展示です。

※対象＝捕獲器具メーカー、什器・業務用厨房具メーカー等
※限定20コマ

1コマ = 100,000円

(1コマ＝約2m×1m)

※税別

※複数のお申し込みが可能です

※180cm×70cmの机を1台用意いたします



←テーブルを使って設置することも可能です(写真は昨年のサミットでの設置の様子)



↑アクロス福岡外観 →地下2階の入り口



<サミット特典> プログラム(前ページ参照)に、主力製品の写真およびスペックを掲載するコーナーを設けました！

※詳しくは営業担当へお問い合わせください。

イベントスペース展示への出展（2）

②消費者向けグッズ、書籍、アイテムの展示即売コーナー

⇒一般含む全来場者向け ※ジビエ祭りからの来場者も含む

食肉だけでなく、皮や角といった副産物を扱った各地の取り組みを紹介し、アイテム類の展示即売も行うスペースを設けます。

※対象＝出版社、自治体等、ペットフード、皮加工品など

1コマ＝50,000円

※税別
※複数のお申し込みが可能です

（1コマ＝約2m×1m）

③カタログ設置（大会参加者の資料にも封入します）

⇒一般含む全来場者向け ※ジビエ祭りからの来場者も含む

ジビエ関係者はじめ会場では情報収集に高い意欲を持つ来場者が目立ちます。機材のカタログに限らず、ジビエ、環境問題、農業、料理等、関連する周辺情報に対しても強い関心を持つことが期待されます。

※来場者に無料提供するものに限りです。

※対象＝すべての企業、自治体等

カタログ1種＝30,000円

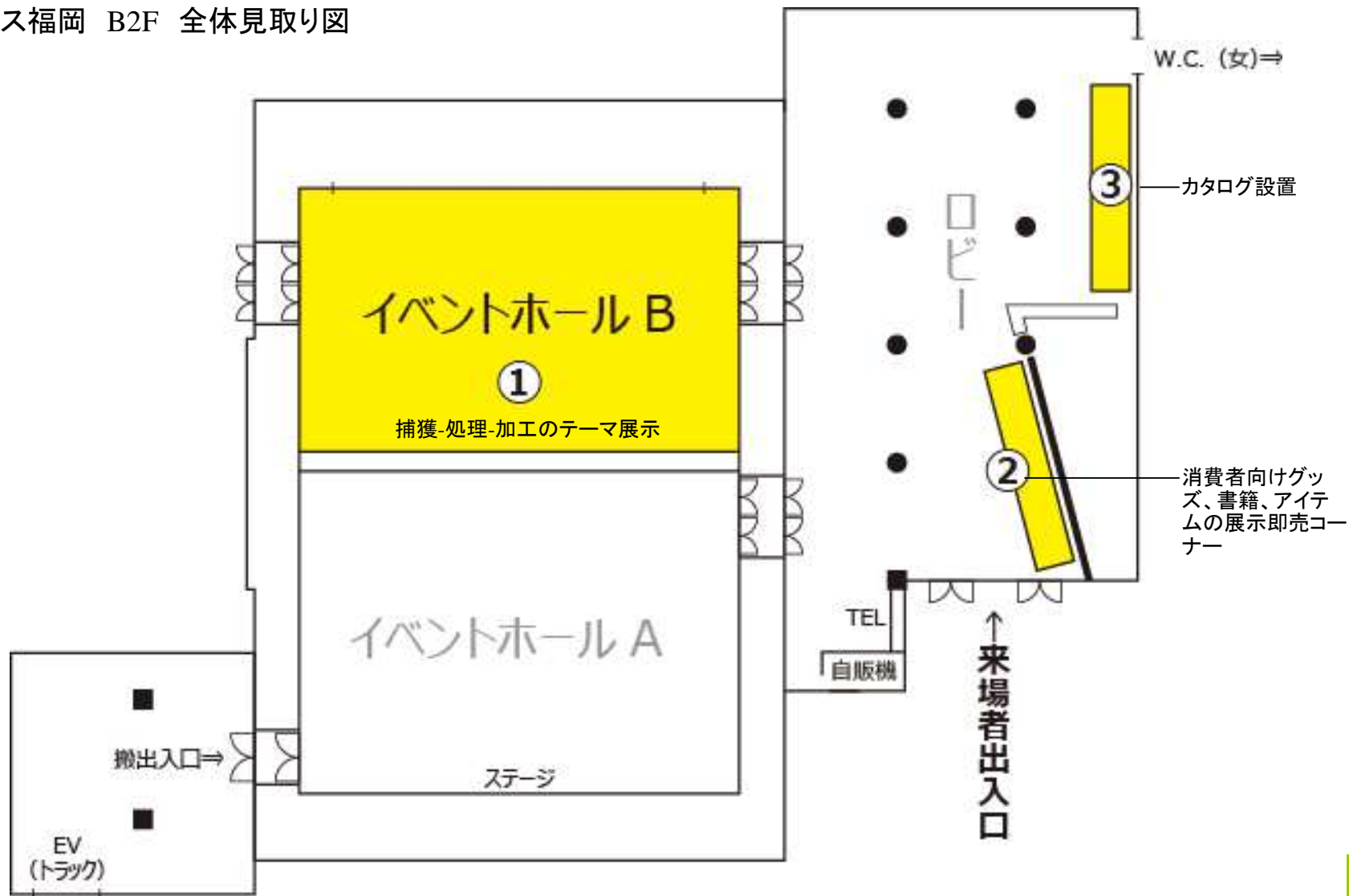
※税別



↑カタログ設置イメージ

イベントスペース 見取り図 <全体>

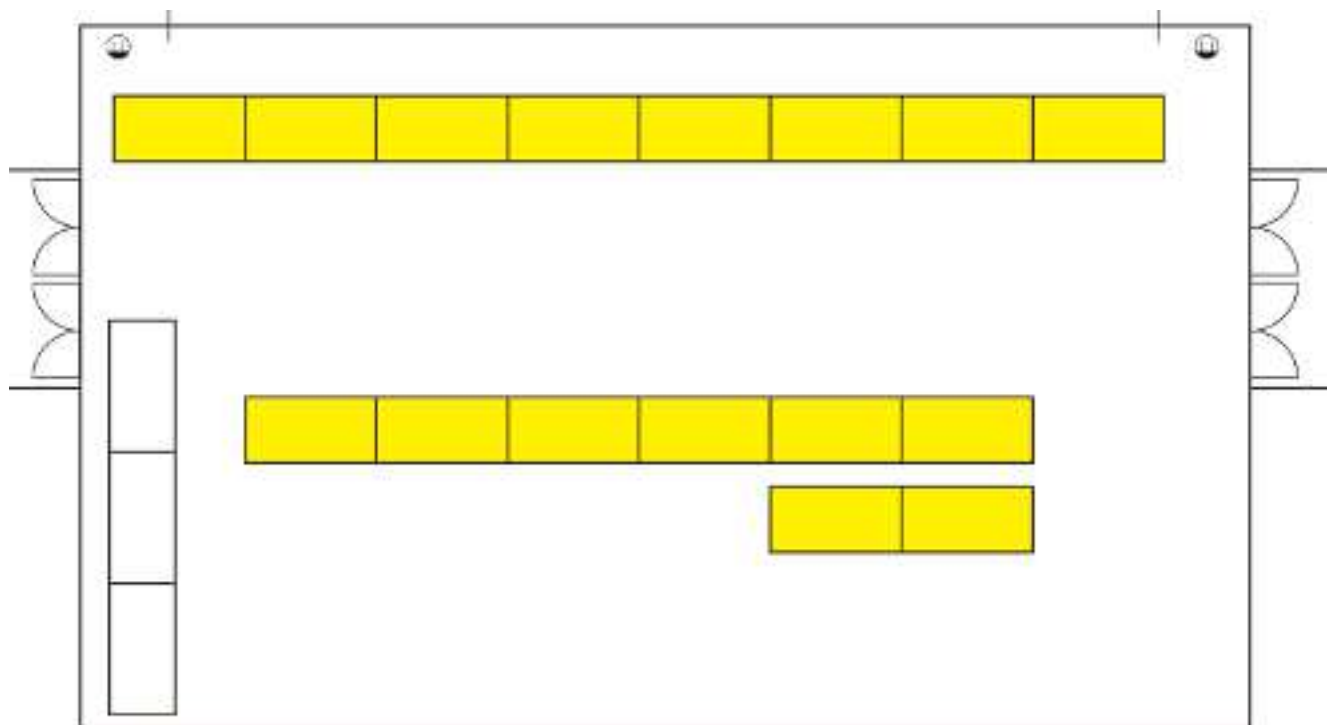
アクロス福岡 B2F 全体見取り図





イベントスペース 見取り図 <①>

イベントホールB レイアウト

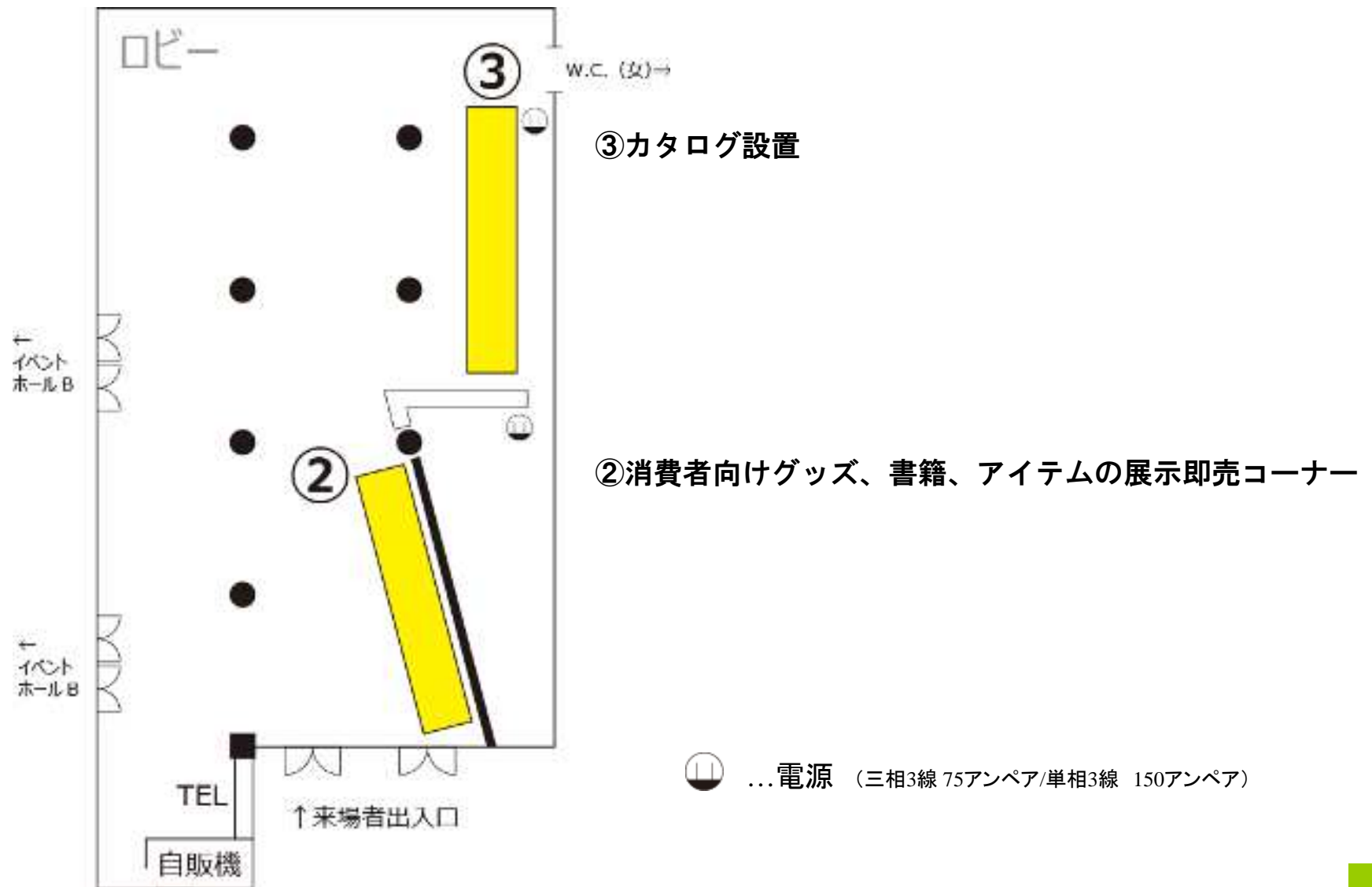
①捕獲—処理—加工のテーマ展示



 ...1コマ(約2m×1m)

 ...電源 (三相3線 75アンペア/单相3線 150アンペア)

イベントスペース 見取り図 <②・③>



申し込み

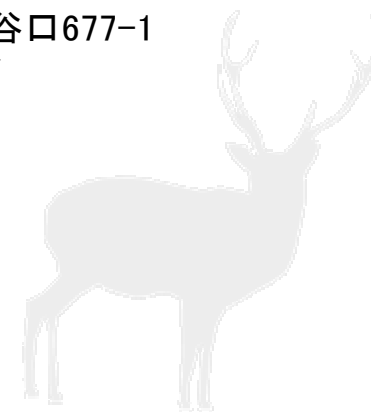
【展示、配布資料への広告お申込先】

株式会社 萬昇堂
〒170-0003
東京都豊島区駒込1-34-2 ヒルクレスト駒込506
担当者: 深田
TEL 03-3947-0196 FAX 03-3947-0214
E-mail info@banshodo.co.jp

【主催】

特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会
〒341-0042 埼玉県三郷市谷口677-1
【HP】<http://www.gibier.or.jp/>

担当者: 小谷
TEL 048-951-0123



日本ジビエサミットのイベント展示への出展、配布資料への広告掲載の申し込みは、**平成27年12月25日(金)**までにお願ひします。

広告データ入稿締切 平成28年1月8日(金)